

令和6年度予算編成のポイント

1 財政見通し

- 新庁舎建設や大型事業の整備などにより、公債費を含めた義務的経費が増加傾向にある。
- 急速な少子高齢化に伴い、社会構造が大きく変化している中、行政サービスを安定的に提供できるよう一般財源を確保していく必要があるが、今後、市税等の大幅な増加は期待できない状況にある。

2 坂本町の復旧・復興

- 坂本町の復旧・復興にあたっては、「坂本町復興計画」や「坂本町復興まちづくり計画」に十分配慮し、スピード感を持って推進していく。

3 「第2期基本計画に定める5つの重点戦略」の計画的な推進

1. 災害に強い豊かな「まち」の実現
2. 次代を担う子どもの育成と安心な暮らしの創生
3. 稼げる農林水産業の実現
4. 地域の魅力とにぎわいの創出
5. 持続可能な選ばれるまち“スマートシティやつしろ”の推進

4 喫緊の課題への対応

- アフターコロナ、物価高騰などの社会情勢の変化への対応
- 新八代駅周辺の開発やSDGsなど八代の未来を切り拓くための施策

5 持続可能な財政運営に向けた取組み

- 上記に掲げる最優先課題を全力で推進していくためには、ゼロベースでの事業の見直しが必要不可欠となる。各部課かいにおいて、厳格な優先順位付けによる事業のビルド・アンド・スクラップを実施し、メリハリをつけた要求を行う。
- 最優先課題以外の事業に対するシーリングは、新八代駅周辺の開発等の財源を確保するため、義務的経費及び数年ごとに行う経費を除いて、令和5年度当初予算における一般財源ベースの95%というシーリング率を上限として設定。